

令和7年白老町議会総務文教常任委員会会議録

令和7年6月13日（金曜日）

開 会 午後 1時00分

閉 会 午後 1時14分

○会議に付した事件

所管事務調査

1. 地域コミュニティーを支える公共施設の在り方について
 2. 次期所管事務調査について
 3. その他
-

○出席委員（6名）

委員長 貳 又 聖 規 君

委 員 長谷川 かおり 君

委 員 前 田 博 之 君

副委員長 森 山 秀 晃 君

委 員 佐 藤 雄 大 君

委 員 広 地 紀 彰 君

○欠席委員（なし）

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長 本 間 弘 樹 君

主 幹 小山内 恵 君

◎開会の宣告

○委員長（貳又聖規君） ただいまより総務文教常任委員会を開会いたします。

（午後 1 時 0 0 分）

○委員長（貳又聖規君） 本日の調査事項は、レジュメのとおり所管事務調査の委員会報告まとめ、それから分科会報告まとめ、それから 2 点目に次期所管事務調査についてということで進めたいと思います。

まず初めに、所管事務調査の分科会のほうから先に皆さんに確認を取りたいのですが、分科会の報告については皆さんいかがでしょうか、目は通していただいておりますでしょうか。特に、気になるだとか修正点、皆さんのほうで今あればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。大丈夫ですか。もう皆さんもう読み込んでいただいているということですのでよろしいですね。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） それでは分科会の報告書についてはこちらで提出させていただきます。続いて委員会報告のほうであります。まず 8 番の調査結果、（１）現状と課題、（２）白老町公共施設適正配置計画と公共施設の基本方針について、（３）対策と今後の方向性というところまでまず確認したいのですが、皆さんここまで何か気になることはありましたか。大丈夫ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） 続いて（４）の委員会の意見というところで、こちら意見の後に各委員さんのお名前を入れています。例えば①番であれば森山副委員長、それから②番であれば長谷川委員ということでそれぞれお名前入れておりますが、これは委員会報告のときはお名前取りますが、こちらどうでしょうか皆さん、結構、皆さんが発言したところを簡潔にまとめたつもりですが、こちらのほういかがでしょうか。前田委員、いかがですか。大丈夫ですか。ほかの皆さん大丈夫ですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） であればこの（４）の委員会の意見については、この①から⑥まで、委員のお名前を取って、そのまま報告としてまとめるということよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） 続いて（５）のまとめ（提言）についてであります。こちらどうでしょうか、皆さん読み込んでいただいて、修正等あればお伺いいたします。いかがでしょうか。こちら皆さんのご意見をいただいた中で、私としても町のほうからの説明資料をもとに、４つの項目でまとめました。１つが公共施設全体の見直しについてということで、公共施設のスリム化は避けられないけれども地域ごとの最低限の文化・交流拠点の確保が前提であると、あと機能の統合や複合化に加えて、用途変更や民間施設の活用（民間移譲）も現実的な選択肢とし

て検討すると。そして、2つ目に町民参加・合意形成の在り方。方針決定前から町民の声を聞くプロセスある合意形成が必要であると、特に対象地域の住民との丁寧な対話の場が求められているでしょうと。そして情報提供ではなく、ともに考える場としてタウンミーティング等の改善や強化を図るべきであるということ、そして3つ目に、地域づくりの視点を盛り込んだ計画立案ということで、施設ありきではなく、地域の未来像、これを前田委員や広地委員のほうからも出されていたと思います。ランドデザインですね。地域の未来像と整合性を持った施設整備の在り方を構築すべきであるということ、特に地域を核としたコミュニティの再編・活性化の方針を持った公共施設整備が求められるのではないかとということ。そして、4つ目に担い手不足と世代交代の対応、これ佐藤委員からも出されておりましたね、若年世代の、若者の世代の町内会活動への参加の促進、地域への関与促進策が必要であると。それから、こちらは前田委員からも出されましたが、集落支援員制度の創設や拡充を通じて、地域に常駐し、住民と行政の橋渡しを行う中間支援の仕組みを検討するということです。

以上の提言をもとに白老町の施策をより効果的に推進し地域コミュニティを支える公共施設の今後の在り方について提言しまとめとするというところで押さえたがいかがでしょうか。こちら、ご意見ある方。

広地委員。

○委員（広地紀彰君） 全体として大変丁寧にまとまっているというふうに感じております。入れられたらというか、こだわりはありません。ただ、公共施設全体の見直しについての中で、最低限の拠点確保ということの中に、統合後の施設、私、縮充という言葉、これは大塩町長がお使いになった言葉なのですけども、要は残された施設を逆に充実させて活性化させていくと、地域の。そういった部分をちょっと視点として盛り込んでもらえるとさらにはありがたいなとは感じました。

○委員長（貳又聖規君） ほか、皆さんございますか。

前田委員。

○委員（前田博之君） 先ほど委員長ちょっと言ったけれども、逆に分科会とかね、そういう話聞いて、1つ項目起こしてもいいのかなと思ったんですよ。これ表題を見れば、地域コミュニティを支えるだよね。だから、(5)の①から④まで、多分僕言うことは包含されていると思うのだけど、頭出ししてもいいかなと思ったんだけど、行政のね、積極的な、ソフト面での町内会活動への関与とかありましたよね。これは町内会活動も含めるし、町内会にある公共施設にしてもやっぱり関与っていうか、ほかのいろんなことも言ってんだけどね。具体的に項目あげたほうがいいと思うんだよね。読む人は1から読んでも理解する人と理解しない人いるので、今言った、やっぱり過去からもそうなのだけどやっぱり行政がね、もう少し町内会に関わるという姿勢が大事じゃないかと思うのですけどいかがでしょうか。

○委員長（貳又聖規君） ありがとうございますそれではですね、そちらの⑤として、追加で、項目的に見せるってことでよろしいでしょうか。そのような形でいかがですか皆さん。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） ほかにございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） またこちらそしたら本日皆さんからちょっとご意見いただいた部分を、また私のほうで清書しまして、またロゴチャットでお知らせいたします。

では続いて2番目の次期所管事務調査についてであります。こちらについては、前回皆様との協議の中で出されたものは、防災、それから庁舎、役場庁舎の関係、それから3点目に教育委員会のスポーツの部活動の地域移行ですね。この3点です。その中で今私のほうとしても、各関係課ともちょっとスケジュール感ですとか、今いろいろ動きの中でスケジュール感等も確認しておりますが、まず1つは、防災の関係、これが今計画等も進めておってですね、ちょうど7月、8月、9月ここにかけてですね、我々のほうに説明したいというようなちょっとご意向もあるものですから、まずはその防災の関係、入れてはどうかという1つの案を皆さんにご提示したいと思います。7、8、9月ですね。10月以降には、今その地域移行の関係、これも来年に向けて、今かなり具体的に組立てを行っておりますので、教育委員会サイドとしても、説明の場を持ちたいというお話をしておりますから、防災の関係ですね、これ3か月で調査期限を1回区切って、そして続いて、地域移行ということでもっていけたらどうかなというふうに考えています。補足が事務局のほうからありますのでどうぞお願いします。

本間事務局長。

○事務局長（本間弘樹君） すいません。それでは今防災の関係ということで、実は昨日総務課の担当のほうともちょっと話をしておりました。今津波の被害想定が大きく見直されたというようなことを踏まえて、特に津波の対策ということで、防災担当のほうでも動いているということで、具体的ななちよっところ対応策も新しいものも含めて今見えてきているというようなこともあって、今委員長のほうから説明あったとおり、1つは防災、所管事務でとっていただければというようなお話はありました。全庁的な津波避難対策をメインにした防災対策ということと、あと、それを1つ所管で取った後に、そのあとの流れとして庁舎整備という案が出ておりましたので、大きな防災の拠点ともなりうるということですので、続けて庁舎整備に入っていくっていうのも1つ、流れとしてはいいのかなというふうに考えておりました。

○委員長（貳又聖規君） ありがとうございます。今私の説明とちょっと違うところがありましたが、庁舎の関係、これは連動するので、防災をやってそして庁舎という形。それから今きくと教育委員会側の地域移行については、全協なり、そういった形での場も設けられるかもしれません。ですので、まずは防災と庁舎ということで皆さんいかがでしょうか。これについてご意見をいただきたいと思いますが。

前田委員。

○委員（前田博之君） 防災はいいのだけどね、庁舎を絡めてね、そんなに議会がね、まだ町側が概念図というのも出てこない、ある程度具体性がね、見えない中で先取りしていいのかどうかと思いますよね。そういう基本的なものがねちゃんと整理されてさ、それによって、ちょ

っと前でもいいのだけど、それで議会にも意見をね、聞きたいということで始まっていくのなら委員会で正式に取上げて議論してもいいけども、ちょっと今の漠とした中で我々議会が莫大な金かかる庁舎を先取りしてやっていいのかなと。防災は防災でね、それは必要かも分からないけれども。

○委員長（貳又聖規君） ありがとうございます。おっしゃるとおりですね。それであれば、まずはこの防災の関係で、3か月になるか6か月になるかあれですけども、防災をその次の所管事務のテーマとして進めるということによろしいでしょうか。また防災の関係については、避難場所についてはこれやっぱり町全体みたいな形で、例えば社台ですとか北吉原ですとか、虎杖浜もいろいろありますからね。そういったことも含めながら調査を進めるということによろしいでしょうか。大丈夫ですか。前田委員よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（貳又聖規君） ではそのような形で進めさせていただきます。ありがとうございます。それでは3番目のその他について事務局のほうからお願いします。

本間事務局長。

○事務局長（本間弘樹君） 次回開催ですけども、既にご案内をしておりますとおり委員会協議会、6月20日金曜日でございます。6月会議の定例会終了後ということで、内容につきましては、小中学校適正規模適正配置の方向性についてということで、所管が学校教育課となっております。

○委員長（貳又聖規君） この件について皆さんのほうから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎閉会の宣告

○委員長（貳又聖規君） 以上をもちまして本日の総務文教常任委員会を閉会いたします。

（午後 1時14分）